

こっこめ通信 05 2019

「カナワラビって」号



八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて
「こっこめ」とよびます。

今年も良い季節になりました。ゴールデンウィークとあって八丈島も観光のお客さんで賑わっています。自然観察にはもってこいのこの季節、シダ植物の宝庫とも言われる八丈島でシダの観察を始めてみてはいかがでしょうか。地味な印象のあるシダの世界ですが、その奥は深く、ハマると非常に魅力的な植物達ですよ。

そこで今回は、まるで園芸植物のような「・・・カナワラビって」と「島の春を食べよう」のお話します。

・ ・ カナワラビって

ハチジョウカナワラビ *Arachniodes davalliiformis*



八丈島ではありふれたシダです。ところが八丈島と青ヶ島でしか確認されていない特産種です。

ホソバカナワラビ *Arachniodes aristata*



八丈島では自生地が限られていますが、その自生地では大きな群落を形成しています。

オオカナワラビ *Arachniodes amabilis*



沢沿いなどのやや湿った場所に生えます。八丈島では比較的珍しい部類のシダです。

リョウメンシダ *Arachniodes standishii*



そうは見えませんがカナワラビの仲間です。他のカナワラビ属と雑種をすることもありますが。

「アカコッコ」は日本固有のヒタキ科（旧ツグミ科）の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

島の春を食べよう！

春の味覚といえば、筍、山菜、苺などたくさん思い浮かびます。島にも春の味覚があります。今回は特に島の春を感じさせてくれる郷土料理を3種ご紹介します。

ここに掲載した郷土料理の作り方は、こちらの QR コードよりご覧いただけます。



ハルトビのさつま揚げ

すり身にしたトビウオに、人参、ごぼう、明日葉などを加え、味噌やしょう油で味付けして、形を整え、素揚げして作ります。

プリプリした食感で弾力があり、既製品のものとはまた違った美味しさがあります。特に春に獲れるトビウオを「ハルトビ」と呼び、ハルトビのさつま揚げは、特別な春の味です。ハルトビのさつま揚げは飲食店などで食べられます。八丈島の美味しい島酒と一緒にいかがですか？



春に産卵にやってくるハマトビウオは島の春告魚です。島の人々はこの時期を心待ちにしています。脂質が少なく、タンパク質豊富なトビウオはさつま揚げのほか、刺身やなめろう、島寿司のネタ、くさや、塩干しと食べ方は様々です。(R.O)

ブド

ブドとは、カギバラノリをひたひたの水で煮溶かし、シタダミやトビウオ、ツナ缶などの魚介類とネギなどの具材を入れ、味噌やしょう油で味付けし、型に入れ冷やし固めたものです。

ブドは各家庭で様々な具材や味付けがあり、まさにおふくろの味と言ったところでしょうか。

郷土料理のお店やスーパーなどで売られています。

口いっぱいに広がる磯の香りを体験してみませんか？



カギバラノリは春から初夏にかけてカギ状に曲がった枝先を他の海藻に絡ませて繁茂します。(ブドを煮る時は石づきや、絡まった他の海藻を取り除くのが大変！)

光を反射して、青白く発色しているように見えます。(H.S)

セノカミの味噌汁

島では春の大潮の頃、波打ち際の岩の裂け目に付いたセノカミを取りに行き、味噌汁にします。セノカミから出汁がよく出て美味しくできます。岩海苔やネギを散らしていただきます。

実はこのセノカミですが、出汁をとるだけでなく、食べられるのです！ちょっと食べにくいですが手で殻をむいて、中身を食べます。セノカミの味噌汁は、飲食店などで食べられます。是非、ご賞味ください！



セノカミは八丈島の方言でカメノテの事です。海岸の波がかかるような岩の隙間などにかたまって付いています。

見た目がウミガメの手に似ているので、この名前がつけました。(H.M)

八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きもので季節を感じようという趣旨で、「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。毎回見られる植物がどのように変化していくか、また、どんな鳥や植物が見られるかも観察しています。今回は4月14日に行いました。

八丈植物公園季節調査（平成31年第4回）参加者・沖山三、沖山美、青木、小林、VC菊池

NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態
草本			33	トウバナ	花	3	オオタニワタリ	新葉が開く
1	アオノクマタケラン	昨年の実	34	トキワハゼ	花	4	コハシゴシダ	衰退が顕著
2	アシタバ	実	35	ヌカボ	花	5	タチクラマゴケ	胞子葉
3	アツバスマシ	花	36	ハナイバナ	花	6	タチシノブ	
4	イヌガラシ	花と実	37	ハハコグサ	花	7	タマシダ	
5	イワニガナ	花	38	ハルジオン	花	8	ナチシケシダ	
6	ウスベニニガナ	花	39	ヒナギキョウ	花	9	ノキシノブ	
7	ウラシマソウ	花が残る	40	フウトウカズラ	雄花	10	ハチジョウカナワラビ	
8	オオアレチノギク	蕾	41	マツバウンラン	花	11	ハチジョウシダ	
9	オオシマカンスゲ	実	42	ミゾイチゴツナギ	花	12	ハチジョウベニシダ	新葉
10	オオバコ	実	43	ムラサキカタバミ	花	13	ヒトツバ	胞子葉が目立つ
11	オオマツバウンラン	花	44	ヤエムグラ	花と実	14	ホシダ	
12	オニタビラコ	花	木本			15	ホラシノブ	
13	オヤブジラミ	花	1	アオキ	若い実	16	マツバラシ	
14	オランダミミナグサ	花	2	イヌビワ	実	17	マメツタ	
15	カタバミ	花と実	3	オオシマザクラ	若い実	18	ミゾシダ	
16	カラスノエンドウ	花と実	4	オオバヤシャブシ	若い実	19	ヤマイタチシダ	
17	ギシギシ	蕾	5	ガクアジサイ	蕾	20	ワラビ	新葉が開く
18	キュウリグサ	花と実	6	カジイチゴ	花と実			
19	キランソウ	花	7	スダジイ	蕾			
20	コケリンドウ	花	8	タイミンタチバナ	花			
21	コナスビ	花	9	タブノキ	花			
22	コメツブツメクサ	花	10	トベラ	花			
23	シチトウスミレ	花	11	ハゼノキ	蕾			
24	シロバナマンテマ	花	12	ハチジョウキブシ	花と実			
25	スズメノエンドウ	花と実	13	ハチジョウクサイチゴ	花と実			
26	スズメノカタビラ	実	14	ヒサカキ	若い実			
27	スズメノヤリ	実	15	ヒメユズリハ	雄花			
28	セイヨウタンポポ	花	16	ミツバアケビ	花が残る	今回は、シダ植物 20 種を含む 81 種の植物を観察しました。植物以外ではヤブニッケイモチビウキンの菌癭が成長し始め、最近では珍しくカラスバトの声が何度も聞かれました。繁殖地へ向かう渡り鳥の出現も期待したのですが不発に終わりました。		
29	タチイヌノフグリ	花と実	17	ヤマモモ	花			
30	タネツケバナ	実	シダ植物					
31	チチコグサ	花	1	イシカグマ	新葉			
32	チチコグサモドキ	花	2	オオイタチシダ	紅い新葉			

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、「シロヤマシダ」にスポットを当ててみたいと思います。



シロヤマシダ *Diplazium hachijoense*

メシダ科のシダ植物。八丈島では沢沿いなどの湿った場所で見られる大型のシダです。種小名の *hachijoense* は「八丈島の」という意味ですが、意外にも関東地方の南部から中国大陸までの広い地域に分布しています。名前に地名を含む生きものは多いのですが、うっかりするとその地方独特のものと勘違いしてしまいそうですね。

生きものに名前をつける難しさを改めて認識させられます。

2019 八丈ビジターセンター 5 プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島(神湊)の潮の満ち引きの時刻です。
また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
28	29	30	1	2	3	4
GW 特別行事 午前:「バードウォッチング入門」 午後:「体験八丈太鼓」「特別ガイドウォーク」						
● 5	立夏 6	7	8	9	10	11 ガイドウォーク
GW 特別行事						
☾ 12 ガイドウォーク 植物公園季節調査会	13	14	15	16	17	18 ガイドウォーク
☉ 19 ガイドウォーク	20	小満 21	22	23	24	25 ガイドウォーク 八丈学講座 「海藻を調べよう」
26 ガイドウォーク	☾ 27	28	29	30	31	この色の日は ガイドウォークや 特別行事があります

イベントプログラム

GW特別行事 「バードウォッチング入門」	双眼鏡の使い方から始める入門編。アカコッコやメジロなどを探しましょう。 5/1～5/6 (10:00～ 約1時間半) ビジターセンター集合・解散 小学生以上(小学3年生以下保護者同伴・未就学児同伴不可) 無料 定員:10名 申し込み必要
GW特別行事 「体験八丈太鼓」	両面から打つ、島の太鼓を体験してみませんか? 日頃のストレスを発散できますよ! 5/1～5/6 (13:30～ 随時) だれでも ビジターセンター入口にて 無料 雨天中止
GW特別行事 「特別ガイドウォーク」	ゴールデンウィークは特別に午後の開催にしました! 解説員が案内しながら園内を散策します。 5/1～5/6 (14:00～ 約1時間) ビジターセンター集合・解散 だれでも 無料 定員:15名 申し込み必要
植物公園季節調査会	植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を感じましょう! 5/12 (13:30～ 約1時間半) 中学生以上 ビジターセンター集合・解散 無料 定員:15名
八丈学講座 「海藻を調べよう」	毎月行っている八丈学講座。今月は、海岸にある海藻を調べます。島にはどんな海藻があるかな? 5/25 (13:30～ 約1時間半) 中学生以上 現地 集合・解散(当日決定、予定:大湯浦) 参加費:50円 定員:15名

ビデオプログラム

10:00～	八丈・海・生きものたち
11:00～	おじゃりやれ 八丈島
14:00～	おじゃりやれ 八丈島
15:00～	おじゃりやれ 八丈島
16:00～	八丈・海・生きものたち
上記以外での上映は予約にて可能です	

東京都八丈ビジターセンター 2019.5.1 第216号

開館時間 9:00～16:45 年中無休(入館無料)
〒100-1401
東京都八丈島八丈町大賀郷2843
電話:04996-2-4811 Fax:04996-2-4888

編集後記

今月から担当者が変わりました。慣れない作業に皆で四苦八苦しながらも、なんとか形にすることができました。
これからも長い目で見て頂き、新しいこっこめ通信の伸びしろに期待して頂ければ幸いです。(菊)